

自立活動だより

紀北支援学校自立活動部
令和4年1月発行

年も明け新たな1年がはじまりました。気持ちも新たに3学期スタートできていますか。1月号の自立活動だよりは、高等部について紹介します。今年度の高等部の生徒数は95名(令和3年11月1日現在)です。教育課程としては、通称1ブロック(知的障害学級)と呼ばれている教育課程Ⅱと教育課程Ⅲ、2ブロック(肢体不自由重複学級)と呼ばれている、教育課程Ⅰと訪問学級があります。

自立活動の授業形態は、子どもの実態や目標に応じて個別または小集団で行い、活動内容も様々です。一部ではありますが各ブロックの活動について紹介します。



【2ブロックの取組】

Aさんのねらい

- 『健康の保持』『身体の動き』
 - 筋力を高め、安定した歩行につなげる。
- 『コミュニケーション』
 - 言葉で要求を相手に伝える力を高める。

Aさんの活動内容

- 歩行や腹筋運動に継続して取り組む。
- 自分の気持ちや要求(聴きたい曲名など)を教師に伝える。

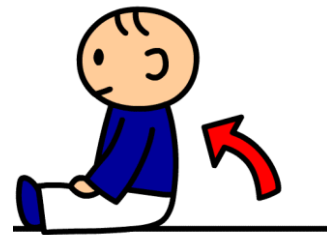
Aさんの経過・成果

登校後、荷物の整理や着替えをおこなった後、腹筋運動を中心に取り組んでいます。当初は「腹筋しよう」という誘いに「やらん」と答えたり、10回程度で動かなくなってしまったりすることもありました。そこで、本人が好きな曲をお楽しみとして設定し、腹筋運動中は聴いてもOK!とルールを決めて取り組みました。次第に自分から「腹筋する」と発言が出てくるようになり、腹筋運動を行う回数も増えてきました。腹筋運動中は好きな曲を聴けるため、Aさんにとって腹筋運動は「楽しい活動」となり、こちらが促さなくても「腹筋する!」と教師に伝え、毎日継続して取り組むことができるようになりました。10回程度だった腹筋運動の回数が、今では多い時に100回以上できるようになりました。当初手を引く補助をしながらの腹筋でしたが、現在は補助なしでもできるようになり、筋力の向上が感じられます。

腹筋運動中に聴く曲は、「〇〇(曲名)かけてください」と具体的に伝えることができます。「もっとやる」「おわる」など、自分の気持ちを言葉にして、教師に伝えることもできています。



足を掛けるところを作ることによって一人で腹筋の準備をし、補助なしで始められるようになっています。



【1ブロックの取組】

説明が苦手なBさん。Bさんは、教育課程Ⅲの生徒です。小学校高学年の計算問題ができ、漢字博士検定でも6級に挑戦しています。英語で詩を書くことにチャレンジするような、文学的な生徒です。授業には真面目に取り組みます。ただ、文学でも複雑な状況や、説明文、手順などを理解することは苦手です。運動も好きで、休み時間には運動場でサッカーなどをして友達と楽しめます。手先を使う細かい作業は少し苦手ですが、掃除など体を使う仕事が得意です。Bさんは、将来のこと、友達関係など高校生なら誰もが持っているような悩みを抱えています。ただ、あまり自分の気持ちや状況を人に伝えることが上手ではなく、うまく伝えられないという難しさを抱えています。

Bさんの自立活動の目標

- 不安なことや分からないことを自分から相談する。
- 先生の話聞いて理解する。
- 手順やルールのある課題に取り組み、理解する力をつける。

Bさんの自立活動の取り組み

自立活動の授業で・・・

- 日常の自分の目標を再確認し、チェックをつける。

○自分の課題を意識して日々過ごせていますか? チェックしてみましょう。(○△×)

	5/5	6/8	7/6	9/4	9/2	10/13	11/2	/	/
分からないときにすぐに質問している。	△	△	○	○	△	○	○		
不安ときには相談している。	△	○	△	○	○	○	△		
先生が話している時に先生を見ている。	△	○	○	○	△	×	△		
必要なときはメモを取っている。	×	△	○	△	△	△	△		

- 手順やルールを理解して説明したり、ある状況を他者に伝えたりする。

例えば、このストーリーを読んでまず理解し、それを友達に伝えて「こんなとき、あなたならどうする?」という質問に答えてもらうという課題に取り組んでいます。状況を説明することで、より深く理解できます。また、本人がどこまで理解しているかを評価することができます。

Bさんの変化

家庭では、なかなか悩みを打ち明けるには至っていませんが、学校では担任に相談できることが増えてきました。相談して解決できることばかりではありませんが、相談することで自分の思いを整理できたり、前向きなアドバイスを受け取って少し元気になったりすることもあります。授業での説明が一度で理解できないときは「もう一回説明してください」「ちょっと待ってください」など、対応することができてきています。他者に状況を説明するとき、図に表そうとするなど自分なりの工夫が見られました。

自立活動に主体的に取り組めるように、本人に伝わりやすい表現に直した目標です。本人と一緒に確認して取り組んでいます。

自分で、○△×で、チェックしています。



あなたならどうする? 2. 名前()

☆友達に、下の状況を説明して、「あなたなら、どうする?」と質問してみよう。

① まず、下の文章を読み、状況を理解しましょう。

ゆうじ君と釣りに行きたいなあと思い、ゆうじ君を釣りに誘いました。ゆうじ君は、「たける君も誘ってよ。たける君が行くなら僕も行くよ」と言いました。そこで、たける君も誘うことにしました。ところが、たける君は「君と釣りに行くのは楽しそうだな、ぜひ、行きたいよ。でも、僕はゆうじ君が苦手なんだ。ゆうじ君が行くなら僕は行かない。二人だけで行こうよ」と言われました。

②上の状況を友達に説明し、もし「あなただったら、どうする?」と聞いてみましょう。ただし、上の文章をそのまま読んだり、文章を見せたりしてはいけません。自分の言い方で説明してみましょう。

③聞いた友達の名前と、友達の答えを記入しましょう。

名前()

答え